

人と自然の博物館では、ひとはく地域研究員やひとはく連携活動グループをはじめ、地域の自然・環境・文化を自ら学び伝える活動を行っている方々が、お互いの活動を知り、活動の質をあげ、新たな展開のヒントを得る場として、2006年2月より、「共生のひろば」を開催しています。2013年に開催した第8回発表会では口頭発表・ポスター発表・作品発表があり、活発な情報交換や活動する仲間同士の交流がおこなわれました。また、ポスター・作品を発表会後も博物館で展示する「共生のひろば展」も好評です。

第9回「共生のひろば」を2014年2月11日10:00~兵庫県立人と自然の博物館ホロンピアホールと展示フロアで開催します。聴講を希望される方は、共生のひろば聴講希望と明記の上、お名前・住所・電話番号をご記入の上、人と自然の博物館「共生のひろば」係まで郵送またはFAX(079-559-2033)メール(seminar@hitohaku.jp)にてお申し込みください(受講証は発行・送付しません)。観覧料200円が必要です。詳しくはひとはくHP→共生のひろばをご覧ください。

これまでの共生のひろばの発表記録
<http://hitohaku.jp/publications/book.html>

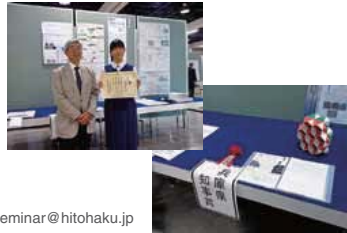


ひとはくトピックス

ひとはくセミナー受講者がミツバチの研究で第57回日本学生科学賞兵庫県知事賞を受賞

この度第57回日本学生科学賞兵庫県審査会において、小林聖心女子学院中学校3年生の平坂優衣さんの「ミツバチの巣室の形の謎を解く」の研究が最高賞である兵庫県知事賞に選ばれました。平坂さんがミツバチに興味を持ったのは、小学校5年生に家族と受講したひとはくのセミナー「家族で蜂蜜しぼり」(講師:大谷剛主任研究員※当時)で、以後生き物に興味を持ち、ひとはくのセミナーを家族とともに多く受講したそうです。平坂さんが中学生となり、ミツバチをテーマとした自由研究をする

にあたり、親しくなった大谷先生を訪ね、研究の方針等について相談したそうです。今回の巣室の形に関する研究は独創的であり、大谷先生の勧めもあってその研究成果を文書にまとめ、日本昆虫学会にも投稿したそうです。このように、ひとはくのセミナーがみなさまの活動に役立っていることは大変喜ばしいことだと思います。セミナーの申し込みは



079-559-2003 079-559-2033 seminar@hitohaku.jp

県立ミュージアム情報

2014年NHK大河ドラマ特別展 軍師官兵衛 ~ 県立歴史博物館 ~

2014年3月21日(金・祝)~5月6日(火・休)

平成26年のNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」と連動した展覧会です。この展覧会では、稀代の軍師・官兵衛ゆかりの資料、同時代の歴史資料などを紹介し、官兵衛の人間像と彼が生きた時代を浮き彫りにします。



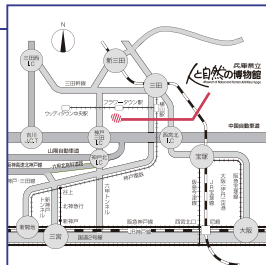
黒田如水像 福岡市博物館蔵

information

【休館日のお知らせ】

ひとはくの休館日は月曜日(祝日・休日の場合はその翌日)ですが、次の期間は臨時に休館いたします。

年末年始 (2013年12月28日~2014年1月2日)
 臨時休館日 (2014年1月6日~2月7日)



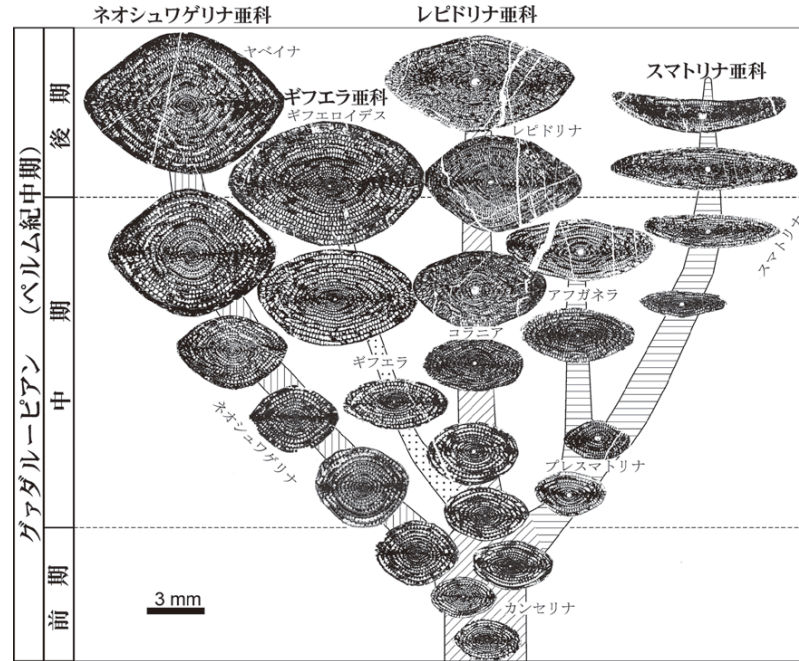
hitohaku news paper

発行日: 2013年12月25日
 編集・発行: 兵庫県立人と自然の博物館 ひとはく新聞編集委員会
 〒669-1546
 兵庫県三田市弥生が丘6丁目
 兵庫県立人と自然の博物館 (兵庫県立大学 自然・環境科学研究所)
 TEL: 079-559-2001 (代表番号)

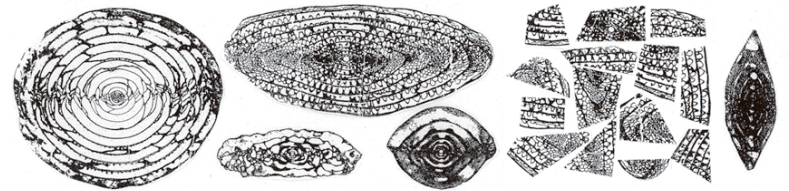
<http://hitohaku.jp> ひとはく 検索

ハーモニー83号

ひとはく新聞 2013 12/25号



フズリナ類の1科、ネオシュワゲリナ科 (Neoschwagerinidae) の系統。時代とともに殻は次第に大型化、内部構造は複雑化していく。殻中心部の初室のサイズや他の諸形質の特徴によりネオシュワゲリナ科は4亜科に、各亜科はそれぞれいくつかの属に分けられる。フズリナ写真はすべて「小林文夫コレクション」を使用している。



「小林文夫コレクション」はオープンセミナーでも使われています。「殻の複雑さの度合いとピースの数や形により、ジグソーパズルの難易度を初級・中級・上級・最上級に分けます。ゲーム感覚で組み立ててみましょう。さて、本日のあなたの成績は？」(人と自然の博物館オープンセミナー「フズリナ化石組み立てゲーム」より)。